



令和5年度 活動報告

プロジェクトテーマ ごとの活動状況

...令和元年度の生きもの会議で討議したテーマから抜粋
📌マークのある記事は、裏面で詳しくご紹介しています

みどりや生きものに関する情報共有

📌 区民参加型 生物調査の実施

昨年度の春と秋に実施した「生きもの調べ隊 in 三宿の森」に続き、今年度は早春の生きもの調べ＆生きものすみかづくりを実施しました。可動式の生きものすみかをつくり、園内に設置しました。これから季節が進み、どんな生きものがやってくるのでしょうか。



生きもの会議 メンバーの活動

実施協力
活動実践

📌 令和6年度 世田谷生きもの会議



東京農業大学入江先生、栗原先生の講演を拝聴し、キャンパス内での実証実験の様子を見学しました。コロナ禍を経ての久しぶりの顔合わせとなり、横のつながりが活動の楽しみにもつながることを実感しました。

参加
交流

ノウハウを広げる/ネットワークを広げる

📌 ちょこっと空間づくり 講習会

コロナ禍で対面講習会を休止していた「ちょこっと空間づくり講習会」。いつでも、どこでも受講できる、講習会の動画を配信しています。現在公開中の3本に加え、4本目となる「ちょこっと空間づくり講習会～トンボや野鳥を呼ぶ水鉢づくり～実践編」を制作しました。4月下旬公開予定です。



講師補助
制作協力

📌 生きものしらべと 烏山地域の緑地紹介



5月から10月まで実施した「まちの生きものしらべ2023」。例年に比べ、烏山地域からの報告が多く寄せられました。烏山地域からの報告を押し上げた背景は...?

調査報告
管理協力
専門家派遣

次世代を育てる

小学校 出前講座

令和5年度は、山崎小学校、深沢小学校、世田谷小学校で出前講座（フィールドワーク）を実施しました。実施方法を見直し、新たな講師を迎えての試行でしたが、子どもたちの反応は上々。講座を通して、大人にもたくさんの学びがありました。



講師

生きもの会議

東京農業大学の入江先生、栗原先生を講師に迎え、令和5年度世田谷生きもの会議を開催しました。コロナ禍が明け、昨年度の駒場野公園見学会を経てようやく会議開催の運びとなりました。講演では、区内緑地における協働によるみどりづくりや、学生が参加して実践する価値創造型の地域づくりの取り組みのほか、世田谷キャンパスでのグリーンアドベンチャーの事例などをご紹介します。



講演：地域とともに緑化景観活動
～緑の知・技・心の共有と見える化～



植物と共存する微生物が土や水の中で放出する電子を利用して発電する「ポタニカルライト」の実証実験の様子
点灯の様子（参考写真）



植物の「力」を街づくりに活かすためには、植物の健全な育成環境の確保と、その力を具体的にとらえる仕組みが必要です。道路整備や建築工事による街路樹の根圏環境への影響を軽減するための試験工法の実証実験の様子を見学しました。



路盤の強度を確保しながら根系の保護を促す工法を試験中

南烏山二丁目みんなのにわ緑地

地域の貴重なみどりを形成してきた南烏山二丁目の生産緑地の一部を整備して開園した緑地です。畑は私たちが食べる野菜だけでなく、多くの生きものを育む大切な空間です。園内には公園ボランティア団体「畑部」がお世話する畑のほか、草や葉っぱを積み上げてつくった「虫のいえ」や、



夏の涼しさを実感
「ゴーヤトンネル」



「虫のいえ」

雨水をゆっくり土に戻す「レインガーデン（雨庭）」、夏に涼しい「ゴーヤトンネル」などが広がり、人にも生きものにもやさしい地域共有の「みんなのにわ」です。

生きもの調べ隊 in 三宿の森

身近なみどりが生きものにとってもっと魅力的なものになるよう、「生きものすみか」を作るプログラムを実施しました。



制作中



できあがり

早春の三宿の森で、生きものを探しながら落ち葉や木の枝などを集め、小さな生きものが利用できるエコスタック（生きものすみか）を作りました。

日時 令和6年3月27日（水）・30日（土）
各日10:00-15:00

パネル展示
緑地の基本構想
緑地の生物調査結果
イベント
お花見
スタンプラリーなど



詳しくはこちら

（仮称）北烏山七丁目緑地春の現地開放イベント

情報発信、情報共有等の記事を募集

生きもの会議のWebページを公開中です。活動報告や助っ人募集、PRなど、事務局まで記事原稿をお寄せください。



HPIはこちらから

ホームページイメージ

せたがや生きもの会議
せたがや生きもの調査



ホーム せたがや生きもの会議とは 団体紹介 イベント紹介 助っ人募集

facebook



せたがや生きもの
Photography: freewind

「世田谷生きもの会議」開催の経緯

「生きものつながる世田谷プラン」の策定にあたっては、生物多様性に配慮した活動をされている多くの方々からご意見をいただき、活動団体同士の連携や、知識・ノウハウの共有、現場のマンパワーなどが課題として挙げられました。こういったご意見を受け、皆さんの活動に役立てられる場として、「生きもの会議」を立ち上げました。